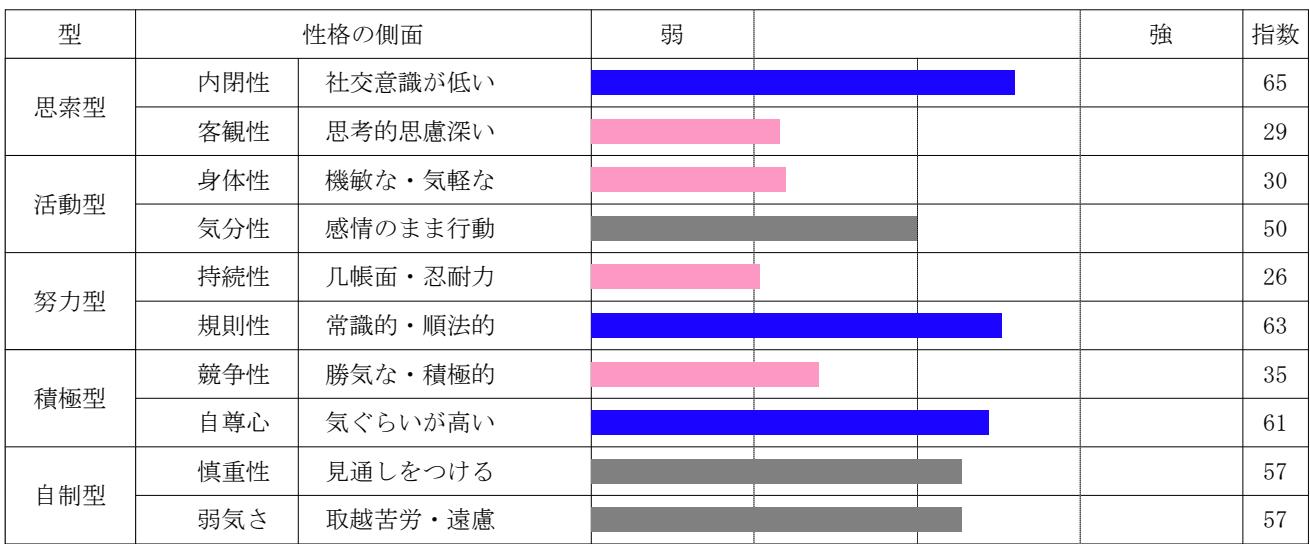


## 1 どういう性格・パーソナリティか



■この人の中心性格は「思索・内閉性」および「努力・規則性」であるが、「積極・自尊心」や「自制・慎重性」といった側面も本人は意識している。

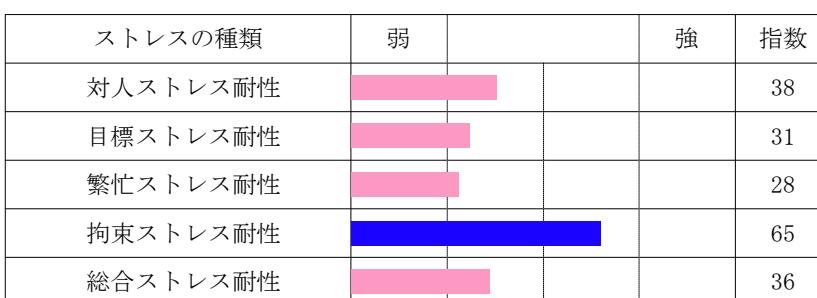
## ●「思索・内閉性」及び「努力・規則性」の人のパーソナリティスケッチ

周囲に距離を置いて眺めようとする性格で、観察が客觀的であり、私情を交えない判断方法は、あまり間違いないを生じることがない。このため大きな失敗をしないことが、ひとつの取り柄といえる。どちらかというと内閉的であり、あまり自分から進んで人の接触をもとめたりはしない。もともと、自分以外の外側のことについて関心がうすいのだが、かわりに自分自身をよく理解していて豊かな内面性を持っている。また、規則やきまりを大切にし、何事においても真面目なところがある。手掛け始めたことは長続きさせる努力性が認められ、丹念に取り組んでいくような物事に向いている。生活や行動において極端な派手さはなく、あまり目立つようなことは得意としない。しかし、一つのことにあくまでも固執しすぎて、しつこさとしてうつることもある。世間のきまりや常識を大切にするあまり、融通がきかない、堅物との印象を他人に与えてしまうことがある。また、自分らしさを主張するより、社会が自分をどう見ているかのほうを気にかけている。

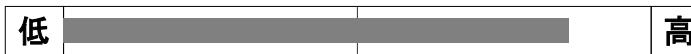
## ●もう一方の性格特性

丹念さに欠け、気の向くままにものごとに取り組むことが多い。一つのことに対するこだわりがないためか、飽ぼく、いろいろな事が長続きしない。逆にいえば淡泊な人で、他の価値観に生きていて、あまりモノに執着しない人といえる。

## 2 ストレス耐性



## 信頼係数



回答の信頼性は高く、矛盾したところがほとんどなく、信頼のできる診断結果である。

## 3 基礎的な職場場面での社会性



指示されたことは処理するが、つねに遠慮がちで消極的。  
意見が衝突して、対人関係で問題を起こす可能性もある。  
何でも気軽に引き受けるが、途中で投げ出すことがある。  
周りの状況によって、自分の意見や態度をかえてしまう。  
自分の考えなどを主張するより、相手の意見にあわせる。  
仲間と協同で何かをするより、独自でできることを好む。  
反抗的なところは少なく、人の意見や指導に素直である。  
指示をまって動くほうが、大任であるとおろおろする。

## 4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか



苦労をして目標を達成するよりも、安定した環境が一番。  
自分らしい生き方を追求するより、人の力を頼りにする。  
周りの環境の変化は好まず、安定した状況の中にいたい。  
危機に遭遇したりすることは、はじめから避けていたい。  
とりあえずの生活手段と考えて、勤務する可能性もある。  
輪の中心となるより、あまり目立たず静かにしていたい。  
人の上に立ち、自分の管理下におくような事には消極的。  
世の中は実力と努力が大切で、友は能力のある人を選ぶ。  
モノやお金、資産などに未練を持たずあっさりしている。

■この人は「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群が一番強く、ついで「より高い水準に自分をしたい」系統の欲求群となっている。  
逆に「苦労を乗り越え、成長したい」系統の欲求群には淡泊な反応である。